



特定非営利活動法人 山崎・谷戸の会
会報 第126号 2025年3月5日発行

本会は、鎌倉中央公園の貴重な谷戸景観と多彩な動植物を保全するため、市民活動を実践していたメンバーが中心となり、行政との協働で立ち上げたものです。

新年度に多様な世代の参加を期待します



里山探検隊

上等な堆肥の仕上げは、細かく篩うこと。こんな丁寧な作業を遊び感覚でこなしてくれる小学生の力も貴重です。でも采配を振るう大人の目や手が欠かせません。農作業にちょっと触れたい方、春風に乗ってオリエンテーションにいらしてください。

お知らせ

里山探検隊

申し込みは3/21より
ホームページにて

農体験や谷戸の遊びをします
★小学生以上(会員)対象
★活動時間 10:00～13:00
★全6回通年参加できる方

オリエンテーション 4/13(日)10:00～

会場 管理棟2階 研修室

申し込み・お問い合わせはメール、電話にて

谷戸塾

田・畑・雑木林管理の保全作業、講座(観察会や農芸体験など)で、谷戸保全を学びます。

春の谷戸まつり 4/26(土)10:00～13:00

場所: 野外生活体験広場(荒天中止)

炊き出しコーナー もち・麦茶
販売コーナー 米・わら・薪・麦わら細工など
体験コーナー ノコギリ体験ほか

コップとお箸を
ご持参ください!



正月が過ぎて寒波が押し寄せ、北日本は大雪になりました。その影響か、冬鳥の種類と数が増えました。アオジの数が多くなり、カシラダカやシロハラなどの冬鳥が例年より遅れてやってきました。タシギやトラ



アカガエルの卵塊

ツグミ（妖怪ヌエの正体、口笛のような鳴き声で鳴き、



シロハラ

昔は妖怪の鳴き声と恐れられていた）のようにやや珍しい野鳥もきています。2月6日からアカガエルの産卵が始まっています。2月13日はアカガエルの鳴き声でにぎやかでした。

●「神奈川県内の自然の変化と気候変動ワークショップ」に参加して 1月30日横浜

当会と関わりのある団体が主催しているので参加しました。東京都市大学では、全国レベルでデータを収集していますが、それに協力する形で、日本自然保護協会の里地調査から得られたデータが発表されました。事務局のような形で県の環境科学センターの職員も来ていました。今回は、湘南地域の自然系の市民団体から現場の声を集めるのが目的です。温暖化による南方系の昆虫の増加、海藻の減少などの声が上がりました。さらに温暖化による豪雨の増加で、水路の被害が出ていることも報告され、今後は、田んぼや水路の手入れが難しくなると予想されます。私からは、2023年頃から、アマガエルやウマオイ、クモ類など一部の生きものが急減していることを発言しました。参加者の中には行政（小田原市）の方もいて、職員自らが市内の生きものの分布を把握しようと本気で取り組んでいる姿に驚かされました。日本自然保護協会からは、ノウサギ、セグロセキレイ、ヘイケボタル、イチモンジセ



イチモンジセセリ

セリ（チョウ）の全国的な減少傾向が指摘されました。日頃谷戸で実感していることが裏付けられたと納得しました。また当会のカヤネズミの保護事例（公園協会と協働し、野外体験広場の一部に草を刈り残してもらっていること）も紹介されました。身近な生きものを通じて環境問題を考える取り組みは評価できると思いますが、温暖化だけでなく化学物質の蓄積なども含め、複合的な視

野が欲しいと考えます。今までの環境問題は、開発や里山の荒廃など目に見える変化との闘いでしたが、これからは見えない何かに包囲されるように環境が劣化していくのでしょうか。気が付いたら、おなじみの生きものが消えていた。そんなことにならないように、谷戸の生きものを見つめていきたいです。

田んぼ班



2024年度は米の収穫量が少し復活して安心しました。でも、気が付いたら畔や水口で部分崩落しそうな箇所があちこち発生し、順次対策中。でもまだ間に合わず、粉殻くん炭の合間に、修繕に使うむしろを必死に編んでいます。



2/9 木障切り



1/20 荒起し

畑班



さつまいもの苗床が3年経たずしてシロアリによりボロボロ。倉庫2に吊るしていた落花生（種用）はすべてネズミに食べられた。これも多様な生きものが暮らす谷戸ならではのということか・・・。

雑木林管理班



年明けに雑木林を調査・測定し、昨年と比較して生長していることを確認しました。間伐、枝打ち、および草刈りした材や草は、土壌改良や薪など、谷戸活動全体に渡って活かされます。

植物育成班



ツルニンジンを保護しているところが覆われてしまったので花を咲かせてくれるのを楽しみに手入れをしました。冬はアシ原や野草など新芽が出る前に手入れをし、生育促進するのに最適な時期です。

自然遊び班



ねぎをあらってぎったのがたのしかったです。（1年）土をほっている時はシャベルが土の中に「ギュッ」と入るときが気持ちよかったです。また、えいようがある土を作るかかりになりたいです。（3年）



1/22 ツルニンジン畑、刈り終える

生態系保全班



カエルが減る中、今年も産卵をしてくださいました。カエルが産卵したいと思ってくれるような水場を保つように、小さな努力を続けています。今年もどのくらいオタマジャクシがカエルになれるか楽しみです。

農芸班



味噌作りを無事に終え、秋までのお楽しみ。新年度は5月の「紙漉き」から始まります。コウゾとトロロアオイを原料に、漉き具合によって現れる模様が楽しい、素朴ですが趣のある紙ができていきます。

谷戸の生きもの

シオヤトンボ 君の名は・・・

藤沢市在住で著名な昆虫写真家のO氏がシオヤトンボを撮りに来たことがあった。氏曰く「他ではなかなか見られないですよ」。それもそのはずシオヤトンボは湿地、湿田と



オス(5月)



メス(6月上旬)

いった特殊な環境がないと生きられない。公園の池では決して見ることはない。神奈川県でもそうした場所は減少の一途をたどっている。姿はシオカラトンボに似ていて相当慣れないと区別が難しい。若干小ぶりであつ腹部が扁平、4月(最近は3月)から出始め、夏前には姿を消す“春のトンボ”だ。なお、どちらも“シオ”が付くのはオスが体全体に白い粉をふくことからきている。“谷戸田の米作り”として受け入れしている小学校の体験学習のオリエンテーションで、“貴重な生きもの”として紹介したら、生徒が思った以上の反応。担任の名は“シオヤ(塩谷)”先生だった😊

(たのくろまめお)

エサキモンキツノカメムシ

君のハートマークは・・・

長い名前だが、“エサキ”(昆虫学者江崎悌三^{ていぞう})さんの、“モンキ”(背中に黄色い紋)のある、“ツノ”(肩が角のように尖っている)のある“カメムシ”と覚えよう😊谷戸に多いミズキなどで発生し、成虫のまま越冬する。1月に越冬成虫を探すと、クヌギの名札の裏に1匹、コナラの名札の裏に2匹と見つかった。本種はなんといっても背中のハートマークが特徴で、“幸せを呼ぶカメムシ”と言われることもあるが・・・怪しいね。“恋多き乙女”というほうが当たっているかもしれない。5月から6月頃、谷戸のあちらこちらで“いちゃついている”カップルを見かけるからね😊

(たのくろまめお)



9月



1月(越冬中)



5月(左(小さい)がオス)

谷戸往来

寄附をいただきました

2024年度、以下の方に寄付をいただきました。谷戸保全活動に有効に使わせていただきます。ありがとうございました。(敬称略) 磯尾佳代子 岡野万里 岡村静子 川上克巳 鈴木 環 早乙女千博 田中たかね 田中敏恵 淡中 篤 藤本実太郎 安田紀代子 山本勝久 蘭 尚樹 渡邊眞一郎 須貝風子 蛭名喜代作 小国一男 矢澤 誠 堀江典子 黒川美加

賛助会員・賛助団体会員(敬称略) 野田真紀子 大平山丸山町内会 グループホーム華花

「子育て支援大集合!地域の力で未来を育もう」

(公財)鎌倉青年会議所主催

「出張!冒険遊び場」

かまくら冒険遊び場やまもり共催

2/11(日)同日開催となり、当会団体会員の皆さんも参加し、共に賑わいました。たくさんの方のいろいろな地域の人たちが谷戸に遊びにきました。



神奈川県内での自然の変化と気候変動

ワークショップ参加 1/30(水)

→ 2ページを参照



深沢小5年 収穫祭 1/9

★お米を食べてる時にふと思いでみたら、このお米もみんなで作って楽しかったなと思って、私はこの谷戸活動でみんな協力してなにかをとり組む楽しさを学びました。



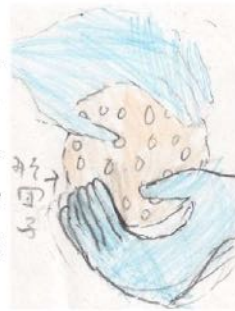
★とても落ち葉があつてリカーがパンパンになって、しよいかごというものがおもしろいといっていたけど、いけると思ったらめっちゃくちやおもくてびっくりした。

★食べたお米や谷戸なべももちろんとてもおいしかったけど、かつたわらを田んぼに入れてじゅんかんさせるところが工夫がつまってるなと思いました。

★来年の5年生のために鍬を使って畑作りをした。力のいる作業だったけど楽しかった。自分で収穫した大根が入ったお味噌汁と自分達で作ったお米はとても美味しかった。

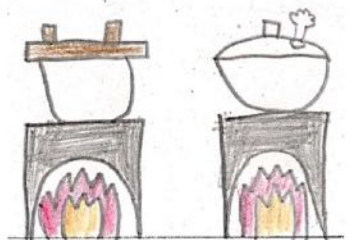
★だいこんをめくのが楽しくて、めくのが気持ちよかった。あとだいこんがしゃきしゃきでおいしかった。

★1年間やって米づくり、米は、生活で必要できょうな物だと思いました。



★私はみそをつくっていて、来年の5年生が私たちがつくったみそをよろこんでくれたらうれしいです。

★お米を食べたとたん「もっちり、ふっくら、あつあつ」という食感(?)があふれてて、すごくおいしかったです!!

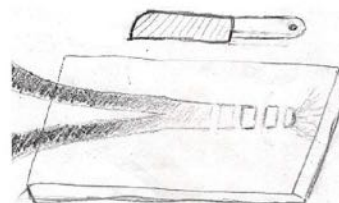


★今までがんばってきたから、その分ごはんがおいしくたべれました。

★だいこんをほったあとのごはんを谷戸なべをたべて、つかれがぶっとびました。

富士塚小5年 収穫祭 12/9

★ぼくはみんなで作ったお米、おみそしるを食べてうれしかったです。一番たのしかったのは、やとじるづくりでした。



★おちばがひりょうになるなんて、とてもびっくりして、しかもどうやってなるのか、とてもしりたいと思いました。

★野菜を切ったりあらったり、手が寒かったけど楽しかったです。

★ごはんをたいたとき、かまどの火加減をちょうせつするのがたのしかったです。でもきのえだを入れるときがすごくあつかったです。

★これまで田おこし、田うない、田植え、稲刈りをして育ててきた米を食べたら、とてもおいしくて3回もおかわりをしました。

★私はお米はんでした。けむりが私の目に何回も入ったのでびびりましたww草

★竹みたいなのをとって下まではこびました。だけどけものみちみたいなのところを歩いてアップダウンがすごくてつかれました。



教育支援教室ひだまり 堆肥作り 1/15

★おちばをあつめて大きなはこに入れて、めかをまいて水をかけて、たいひを作りました。おちばをあつめればしょでは、さつまいもをそだてていました。

★手を入れると発酵しているので、少しあたたかかったです。その作りかけの物の上に、まず、落ち葉をあつめてきてかぶせ、その上に米めか、水をかけ、上にのってふみつけます。楽しかったのでもたやりたいです。

★落ち葉や米めか、水などをまぜて、たいひをつくりまします。まずは、落ち葉をあつめるときに中ごしにならないといけけないので、中ごしになってやると、すごくよくじつこしがいたくなりました。

3月

2日(日) 田 道具の手入れ ☆
 畑 道具の手入れ ☆
 雑 山作業道具の手入れ ☆
 5日(水) 植 早春の植物の観察 ♣
 9日(日) 田 畔・水口直し
 雑 雑木林の除間伐 ♣
 自 父と子の里山体験 
 「谷戸を歩いてリーフアートを作ろう」
 10日(月) 畑 さつまいもの洞出し・伏せ込み ☆
 12日(水) 生 オタマジャクシの観察 ♣
 16日(日) 田 畔・水口直し
 雑 雑木林の除間伐
 17日(月) 畑 じゃがいもの植付け ♣
 23日(日) 雑 斧で薪割り
 30日(日) 雑 間伐材の活用 ♣
 講座「紙漉き」 ☆

4月

5日(土) 田 種粃蒔き、苗床整備
 6日(日) 田 種粃蒔き
 雑 間伐材の活用
 9日(水) 畑 畑の整備
 植 春の植物の観察
 13日(日) 田 種粃蒔き ☆
 雑 竹林の整備 ♣ ☆
 オリエンテーション 10時～ 管理棟2階
 14日(月) 畑 さといも植付けの準備
 16日(水) 生 春のチョウと鳥観察
 20日(日) 田 田うない ♣
 自 里山探検隊「田うない」
 23日(水) 畑 さといも植付け ♣

 26日(土) 春の谷戸まつり
 27日(日) 田 田うない、畔草刈り ☆

5月

3日(土) 田 畔草刈り、苗床草取り
 講座「谷戸の茶摘み」 ☆
 4日(日) 田 くろつけ
 7日(水) 畑 畑の整備 ♣
 植 帰化植物の除去作業
 12日(月) 畑 さつまいも苗植えの準備 ☆
 14日(水) 生 初夏のチョウと鳥観察
 17日(土) 田 くろつけ、苗代草取り
 18日(日) 田 くろつけ、しろかき、苗床草取り ☆
 19日(月) 畑 さつまいもの苗植え ☆
 21日(水) 畑 落花生の種蒔き ♣
 23日(金) 農 紙漉き 
 24日(土) 田 しろかき ☆
 25日(日) 田 しろかき、紐張り、畔草刈り ♣
 31日(土) 田 苗取り、田植え、紐張り ☆
 生 夜の自然パトロール ♣

☆ 谷戸塾 ♣ 里山一日体験
 非会員 参加費500円/1組(申し込みはホームページより)

田 田んぼ班 畑 畑班
 雑 雑木林管理班 農 農芸班
 自 自然遊び班 生 生態系保全班
 植 植物育成班

<集合時間・集合場所>

■各班活動 時間:9:30 場所:農家風休憩舎
 (農芸班、自然遊び班は、10時～)

■夜の自然パトロール
 19:00 場所:山崎口らしいし前集合 20:30頃まで

<お問い合わせ>

住所:
 〒247-0066
 鎌倉市山崎1667鎌倉中央公園管理事務所内

TEL/FAX:
 0467-47-1164 (木曜を除く10時～16時)

ホームページ:
<https://yato-yamasaki.sakura.ne.jp>

メールアドレス:
ya-yato@arrow.ocn.ne.jp



次号(会報127号):2025年5月発行予定
 会費:郵便振替口座番号 00270-6-115647

